

たしな

議会だより

No. 31

2012年8月15日

【題字】上山 萌花 さん

第2回定例会の概要 <small>平成24年 (6月12日～6月29日)</small>	2ページ
市政報告	3ページ
一般質問	4～10ページ
3常任委員会審査	11～12ページ
行政視察報告	12～13ページ
企業誘致促進特別委員会報告	14ページ
政務調査費結果	15ページ



村松浜海水浴場海開き

平成24年
第2回定例会
 6月12日～6月29日

本定例会では、補正予算4件、条例の改正3件、条例の制定1件、承認2件、認定1件、工事請負契約の締結1件、報告10件、議員発議2件、損害賠償額の決定及び和解について1件が上程され、いずれも原案のとおり可決された。



住宅用太陽光発電

主な審議

一般会計補正予算

- 「予算総額に、歳入歳出それぞれ6,400万円を追加し、総額を141億7,500万円とする」
- ・民生費
 - 児童手当システム改修等委託料 (420万円)
 - 各保育園のエアコン取替工事等 (194万1千円)
- ・衛生費
 - 住宅用太陽光発電システム設置補助金 (105万円)
 - 健康診査委託料(成人歯科検診) (60万円)
- ・労働費
 - 雇用対策事業費等 (1,038万4千円)
- ・農林水産業費
 - かんきょう 甘草栽培技術確立・商品開発業務委託料 (300万円)
 - 補助金及び交付金 (870万5千円)
 - 木材破砕機購入(被害木処理) (300万円)



消雪パイプ

- ・商工費
 - 観光事業繰出金(消費税修正申告) (402万5千円)
 - ・土木費
 - 道路融雪施設工事(赤川・下高田) (2,000万円)
- ・教育費
 - 新発田中央高校教育振興補助金 (146万8千円)
- ・予備費
 - (3,529万8千円)



木材破砕機によりチップ化した被害木

発議

- ・適正規模の少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書
- 陳情者 新潟県教職員組合北新支部
- ・水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書
- 陳情者 新潟水俣病阿賀野患者会 (国へ提出)

※その他特別会計補正予算、条例関係については、委員会審査にのっていますので、11P～12Pをご覧ください。

市政報告

要旨

東日本大震災避難者交流センター「しゃくなげ」の開設について

東日本大震災や東京電力福島第一原発事故の影響を受け、多くの方が避難されている状況を踏まえ、市では、本年4月に、避難者の交流や情報提供の場として、交流センター「しゃくなげ」を開設した。

6月1日現在で延べ418人の利用があった。

雇用対策事業

依然として厳しい雇用情勢が続いていることを踏まえ、市では、国の重点分野雇用創造事業及び震災等緊急雇用対策事業を活用しながら、当



交流センター「しゃくなげ」(旧本条小学校)

初予算に総事業費約8,500万円の予算を計上、39人の雇用を順次進めている。5月末時点で26人を雇用した。更なる雇用機会の確保を図りたく、1,000万円強を上積みする補正予算を提案した。

高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画について

近年の高齢者を取り巻く状況の変化や様々な介護課題に適切に対応すべく、H26年度までの高齢者施策や介護保険事業の運営方針を定めた計画を策定した。高齢者が安心して暮らせる社会の構築に取り組んでいきたい。

障がい者計画及び第3期障がい福祉計画について

H23年度で計画期間が終了することを受け、見直しを行った。障がい者計画においては、施設から地域社会の中で共生に向けて、グループホームの活用促進や住宅サービスの強化などに加え、就労支援に向けて啓発や呼びかけを一層支援していく。障がい者福祉計画においては、相談支援の拡充、就労移行及び就労継続等サービスの拡充や地域活動支援センターの利用促進をはかっていく。

中条地区保育園・幼稚園統合施設の整備について

若宮保育園・柴橋保育園・本条幼稚園の3施設を幼保一体型の施設として、旧本条小学校跡地に統合整備するものであり、今年度は旧小学校校舎の解体工事を実施するとともに、当該施設の基本・実施設計を委託する。定員規模は最大で255人の乳幼児を預かることが可能な規模とする方針。8月頃を目途に設計者を選定する予定。

川合亭ほか3施設の営業休止について

川合亭協法面の土砂崩れにより、建物基礎部分の地盤が一部崩落し、危険な状態にあるため安全に万全を期すため、椿庵、ほおのき庵・ならのき庵についても営業を休止している。今後の施設運営について、どのような手法が良いか検討していく。



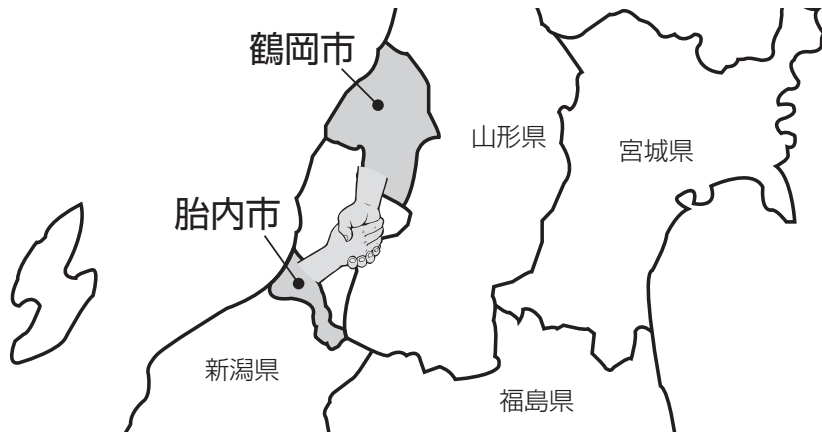
川合亭



川合亭基礎崩落場所

山形県鶴岡市との災害時相互応援協定の締結について

5月28日鶴岡市役所において、鶴岡市との災害時相互応援協定の締結を行ってきた。市と県外の自治体間における災害時相互応援協定の締結は、山梨県笛吹市に続き2例目となる。両市の安心、安全を確保するうえで、大変意義あるものと思っ



政を問う



渡辺 宏行 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

堆肥センターの汚染 堆肥の処理について

議員 微生物による放射性セシウム除染の実験の結果は。

市長 4月に低温の日が続いた影響により微生物の活動が活発化しないため、実証実験の間を6月29日まで延長したことから最終的な結果報告は6月末の見込みである。なお、委託業者からの中間報告では、実証実験前に測定した値は、1キログラム当たり50ベクレル未満であったが、実証実験の結果では20%程度の低減は認められたものの、目標である不検出の値には至っていない。

議員 実証実験により放射性セシウムが基準値を下回った場合、市の負担で除染を行うのか。

市長 除染費用に対する東京電力からの補償については、全国的に例がないことから明確な回答は得られていないが、今後東京電力に市が請求を行う方向で協議を進めていく。



微生物による除染実証実験（黒川堆肥センター）

まちづくり基本条例の制定について

議員 地方分権の推進に伴い、胎内市も市民と行政の役割と責任を明確にした市民参加による協働のまちづくりを推進するために「まちづくり基本条例」の制定に向けた取り組みを進めるべきではないか。

市長 胎内市総合計画の基本構想に定めるまちづくりの基本理念に基づいて策定した行政改革大綱には、目指す方向として、市民の視点に立った行政運営を推進することを掲げており、まちづくり基本条例と何ら異なるものではない。新たな条例の制定は考えていない。

職員の地域担当制の導入について

議員 職員の地域担当制を導入することにより地域住民の多種多様な声を把握し、市政運営に活かすことができ、さらには地域間の格差解消にもつながると思うが導入の考えはないか。

市長 この地域担当制は、広報広聴機能の強化、地域における課題の解決、縦割り行政の改善や職員の能力向上に期待出来るが、職員の担当地域の範囲や職務内容について課題もあることから導入している市町村の事例等を参考に是非について検討していく。

【その他の質問】

*震災ガレキ受け入れについて
*樽ヶ橋河川公園の放射性セシウム汚染について



樽ヶ橋河川公園



八幡行雄 議員

胎内市

総合体育館建設について

議員 建設規模の対象は、(武道館・トレーニングルーム・ランニングコース・積雪の多い胎内市、室内練習場も考えるべきでは)、また、昨年の災害を考えて防災対策と安心・安全の施設としても考える必要があると思うが。

市長 今定例会の胎内市総合体育館建設審議会設置条例が可決されたら速やかに審議会を設置、審議し、詳細を決定してもらいたい。また、非常用の食料を備蓄する総合避難所として位置づけたい。

国際人の育成について

議員 小学校で英語学習がスタート、子どもたちが怖じけず世界に活躍できるよう、一歩進んで英語のみで会話する英語教師の配置は将来ある子どもたちに必要ではないか。

教育長 市内小中学校へALTを派遣しており、一層の充実を図りたい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



ALTによる英語の授業

松枯れ、庭松の今後の対策は

議員 庭松、校庭の松、銘木を大切に育てる義務がある。地域の方と協力して進めるべき。また、その後の松枯れの後始末の対策は。

市長 大切な銘木を被害に遭わないよう、後世に残すため、関係集落や関係機関と対応したい。また、松枯れの後始末はチップやペレットとして活用も考えたい。



市役所本庁前一本松

介護費・医療費の軽減を

議員 4地区にウォーキングを広めてはどうか。また市内一斉に「呼びかけ健康体操」の時間を設け足腰の強い高齢者を育てられないか。

市長 運動の効果を確認しながらのウォーキングは健康づくりに効果があり大切。関係各課と市民が一緒になって検討していきたい。「呼びかけ健康体操」については、家庭で体操ができるという点で有益と考えるが時間帯もあり、検討していく。

政を問う



丸山孝博 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

幼保一体型施設の すすめ方について

議員 市では、若宮保育園、柴橋保育園、本条幼稚園の3施設を幼保一体型施設として旧本条小学校跡地に建設するとしているが、このための検討委員会の協議はどこまで進んでいるのか。関係者への説明はどの程度されてきたのか。

市長 保護者代表等20人で構成する委員会であったが、参考意見を求める場として設置してほしい旨の要望があった。総論として幼保一体型施設の整備を前向きに進めていくことが民意にもなっていると思っている。委員会内外の説明等で、至らなかつた部分があつたことと、最終的な総括という明確さをかいたことについては反省している。

議員 検討委員会の開催は、22年度4回だが、23・24年度の開催状況は。
健康福祉課長 検討委員会の任期は22年度末で終了している。

議員 幼保一体型の施設は、市が行う初めての施設である。22年度で検討

討委員会が終了して、設計に入る大事な時期に検討する場がなく、事務方でやっている。市長は、市民から意見、要望を聞きながらすすめるかと答弁しているが、どの場でだれが検討するのか。

健康福祉課長 検討委員会の方々に、素案として資料を用意し、意見集約したい。施設の建設と運営について、もろもろの角度から意見集約しながら進めたい。



幼保一体型施設建設予定地
(旧本条小学校)

汚染堆肥の処理 と今後について

議員 汚染堆肥を微生物によって除染するとして実証実験しているが、効果はあつたのか、今後の処理の考え方はどうか。

市長 実証実験前の市の測定では、50ベクレル未満であつた。委託した社団法人微生物応用研究所からの中間報告では、50ベクレル未満の20%程度の低減で、目標とした不検出の値には至っていない。最終結果を受け、このまま堆肥を販売するかどうか、県と協議して方針を検討したい。
踏切の移転・拡幅について

議員 JR羽越線の元病院踏切は、隣の築地街道踏切と近くて狭い。近年あかね町の住宅化が進み利用する人も増えている。中条駅西口整備周辺事業と一体で、望城線の拡幅を行うが、その際同時に、元病院踏切の移転拡幅ができないか。

市長 望城線の拡幅計画を策定する際に、あわせて検討したい。



元病院踏切の移転拡幅を



森田幸衛 議員

ズバリ市

水害対策について



アクセス道路から苔の実方面の「堀川」

【議員】

2級河川である「堀川」は大雨の度に溢れている。現在、舟戸川合流点から約300mについて災害復旧工事を行っているが、残りの苔の実地区約300mについて放置したまま、いくら上流部の改修を進めても、大雨が降れば、より一層、特に高橋地区の水田は湛水すると考えられ、地元の関係者は強い危機感を持っている。自然の摂理からしても

上流部より先に下流部の改修を実現させるべきではないか。

【市長】

現地確認を行い、県に対して環境や河道状況、水害発生状況等の情報提供及び整備等の要望を行っていきたいと考えている。

農業振興について

【議員】

近年「紅はるか」という品種が期待を込めて栽培されている。甘草と同様に胎内市のブランド化に向けて本腰を入れるべきではないか。

【市長】

現在、砂丘地特産力ンシヨ商品開発推進事業に取り組み、パン、ケーキ、ジェラートなど9品目の新商品を開発し、胎内市や新発田市のホテル、レストラン、菓子店で販売提供されているが、今後はさらに取扱店舗の増加を目指し、紅はるかの特産化に努めたい。

子育て支援について



苔の実の信田猛正さんが開発した紅はるかのジェラート

【議員】

23年度から保育料の第3子無料制度の第1子の規定について、小6までを中3までに延長したが、それでも無料の恩恵が打ち切られる家庭があり、第1子の規定がある限り保護者から疑問や不満は続いていく。対象者はあとわずかなので第1子の規定は廃止すべきではないか。

【市長】

子育て支援と財政措置、そして公平性の観点から、完全無料化や、あるいは所得制限なども含め総合的に検討して見る必要がある。

【その他の質問】

*社会体育施設について

*フェイスブックについて

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

政を問う



高橋政実 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

ガレキ処理問題

議員 ガレキ処理問題に対する胎内市としての方向性は。

市長 市では汚染堆肥の問題について最優先に取り組んでいる。ガレキ焼却に協力はしたいが、1,200tがきちんと処理することが、一番だと思う。



岩手県ガレキ仮置き場

議員 放射線について、何ベクレル以下なら問題ない、何シーベルト以下だから安全と基準値の見方が一般的だが、1kg8ベクレルのガレキを1,000t持ち運んだとすれば800万ベクレルの放射線を出す放射性物質を他から持って来る事になる。これが総量的見方であるが、見解は。

通学路の安全について

市長 総量規定であるが、国、県のきちんとした物差しを示さないので一番困っている。専門家が多角的な分析でこうであると、示せば、安心する。

議員 4月末頃集団登校中、子どものに車が突っ込んだ事故が全国で多発した。市の安全を期して通学路の点検は、要対策、見直し箇所の有無は、バス大型化諸問題発生してないか。

教育長 教育委員会、学校、警察、道路管理者が連携してすべての小学校の通学路を対象とした危険箇所抽出と点検を実施する。この通知より前に独自で、道路幅狭く交通量が多い路線、車両等の出入りが多い敷地前、過去に交通事故が発生した箇所、保護者・地域から危険を指摘された箇所など調査実施した。その結果、全小中学校の通学路における報告箇所は124カ所であった。今後、関係団体と合同点検を実施し、所要の措置を講じていく。

議員 大型バスの切り替え時、バツクもあつたが、安全上、2人乗務に出来ないか。

学校教育課長 一部大型バスのバツクもあつたが、今は解消している。



スクールバス

【その他の質問】

*堆肥除染について

*樽ヶ橋河川公園芝生汚染について



新治ひで子議員

ズバリ市

通学路や生活道路の安全対策は



通学路の安全対策は

議員 未整備の歩道は、歩行者の安全を最優先と考え、①道路の一方通行化、狭く見せる斜線書き入れ、路肩を緑色に塗り車線と識別するグリーンベルトの設置、乗り入れ防止の縁石の設置、制限速度30キロ文字を道路上に塗装する取り組みは、②通学路上の電柱地中化は、

市長 ①警察等と協議しながら進める。②交通安全上危険な箇所は、電力会社に移設等をお願いする。

公営墓地の建設は

議員 ①通学路の安全点検状況は、②通学時間帯に路側帯へ駐車する車を見かける。周辺住民への協力要請は。

教育長 ①順次点検を実施し、各方面と協議する。②学校、保護者、学校支援ボランティアと連携しながら確認や啓発活動を行う。

議員 高齢化の中、県内外から移り住んだ市民の中には、元気な内に墓地を準備しておきたいと、早期の公営墓地建設を望んでいる方々がいる。墓地建設の構想、候補地の選定の進捗状況は。

市長 船戸集落墓地の隣接地を候補地とした構想図を作成。地元住民の方々や土地隣接者の理解が最重要。住民説明会等を開催しながら、慎重かつ丁寧に進めたい。

議員 そこは明るく便利な場所であり、他の目的での利用は考えにくいので整備が進むことを望む。また、公営墓地として整備する時、**※**「樹木葬」を取り入れる考えは、**※**「樹木葬」は、墓石ではなく樹木を墓標として植え、その下に遺骨を

埋め、土に帰す手法の墓地。手入れや管理不要の永久墓地のひとつ。

市長 環境や市民ニーズ、社会情勢の変化を勘案、状況を注視したい。



船戸墓地

図書館利用について

議員 幼い子どもを連れてでも気兼ねなく図書館を利用できるように、日時を限定した「赤ちゃんタイム」の導入は。

教育長 現在の図書館は手狭で授乳やおむつ替えスペースの確保が困難。関係者と協議し進めたい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

ズバリ 市政を問う



松浦 富士夫 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

早急な要介護認定を

議員 要介護認定は、介護保険法で特別な理由がない限り30日以内に処理しなければならないとなっているが、市では、約2カ月かかる事もある。早急に要介護認定はできないか。

市長 要介護認定は、介護サービスを受けるために必要な手続きであり、社会福祉介護人材の不足などで認定が遅れている方がいるのは事実である。事務の改善を図り、介護認定審査会及び主治医の意見書提出を速やかに対応するように要望していく。

議員 市内に在籍しているケアマネージャーの人数と増員の見通しは。

市長 市内の8居宅介護支援事業所に17名が在籍している。増員については、現在、各事業所とも計画はないとの回答であり、福祉、介護事業者と連携を図り、人材の確保、育成に取り組んでいく。



デイサービスセンター「と・も・だ・ち」

市長のスタンスは

議員 米価変動補てん交付金と収入減少影響緩和対策は整理統合が検討されているが、価格補償制度で負担金が発生した場合市長はどのようなスタンスをとる考えか。

市長 各市の関係からもこれから上がってくると思う。十分協議が必要。

議員 農業は、市の地域振興に少なからず貢献してきたと思うが、いままでは市の地域経済に対しどのような位置にあり、どのような役割を担ってきたのか。また、今後どのような役割を担うと考えているか。

市長 市の基幹産業である農業は、水田、砂丘地畑などの優良農地を生かした水稲、葉たばこ、チューリップ球根などの生産を行ってきた。近年ハウスを活用した複合経営による地域経済の発展に大変寄与してきたと感じている。今後基幹産業である農業の発展、振興を図るべく農業者、関係機関、団体と連携し推進していきたい。

新たな補助金制度について

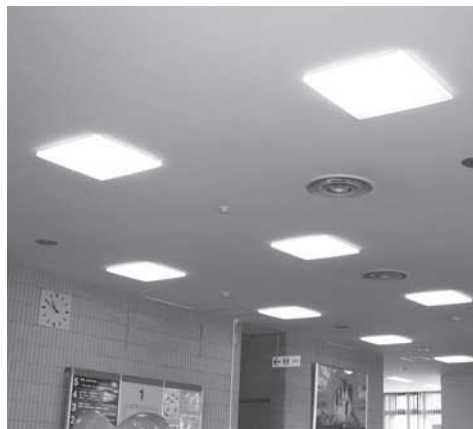
議員 現在市では、住宅用太陽光発電システム装置に補助金を出している。新たに全国的に普及してきている環境にやさしく、節電対策にも有

効なLED照明に補助金制度を設ける考えは。

市長 LED照明は当初価格が高かったことから普及が進まなかったが、最近長い目で見れば電気代が節約できることなどで、LED照明のよさが理解されてきている。今後、市場や国、県の動向を注視し補助金のあり方について検討していきたい。

議員 全国的に脱原発の動きもあり、市では、再生可能エネルギー導入に動いているが、発電だけを考えるのではなく、節電対策も必要と思うが。

市長 節電対策も必要である。支所や公共施設にも徐々にLEDにかえているが、できたら防犯灯にも設置できればと思っているし、先進地の話を聞きながら進めていきたい。



市役所本庁舎のLED照明

常任委員会審査

総務文教 常任委員会 6月18日

職員の特種勤務手当に関する条例の改正

「家畜伝染病のまん延を防止するために行う家畜のと殺、家畜の死体焼却若しくは埋却又は畜舎等の消毒の作業に支払う手当て1日380円」

質問 380円の根拠は。

答弁 国に準拠している。

質問 殺処分も地方自治体で行うのか。

答弁 一通り県が行う、一部焼却を要するものの受入れなどは地方自治体が担う。

消防委員会条例の改正

「委員に消防署長・消防団長を任命し、地区代表を1名減して委員を9名から10名とする」

質問 構成は。

答弁 他に消防関係者2名、在職者

2名、地区代表4名である。

総合体育館建設審議会設置条例

「建設に当たり、円滑かつ効率的な建設促進を図るため審議会を設置する」

質問 委員の構成は。

答弁 体協・スポ少・一般公募を考

えている。

質問 規模・位置の腹案はあるか。

答弁 公式戦バスケットボールコート2面は確保したい。位置はアクセス面、以後の施設管理を考慮した答申を待ちたい。

三市北蒲原郡地区視聴覚教育協議会

歳入歳出決算の認定について

「H23年度をもって解散した当協議会の決算の認定を求めるもの」

質問 以後の対応は。

答弁 各自治体毎、図書館対応となる。



厚生環境 常任委員会

6月19日

国民健康保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出をそれぞれ76万円減額し、総額を35億8,924万円とするもの。歳入では、国庫支出金を増額、繰入金を減額。

歳出では、扶養控除の見直しに伴い、システム改修経費を計上。人件費の減額。ジェネリック医薬品差額通知書作成委託料を計上」

質問 新薬を使いたいという希望もあるが、医者の方でジェネリックでいいと説明があるのか、薬局の段階で教えるのか。

答弁 患者の要望、相談があれば状況に応じて出す場合と、医者から勧める場合とある。

公共下水道事業会計補正予算

「施設の長寿命化計画に基づき、中電浄化センター水処理施設の機械、電気設備の更新工事について県との協議の結果、H24年度とH25年度との2力年で実施するため、継続費の総額及び年割額を設定するもの。」

財源内訳 企業債7,740万円。国庫補助金1億2,355万円。受益者負担金3,385万円。事業費の50～55%が国庫補助金。長寿化対策の更新事業はH34年度まで計画を立てている」

質問 国から50～55%補助金がもらえるが、企業債も国の交付税が補填されるのか。

答弁 補填されることはない。



手数料条例の一部を改正する条例

「住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律がH24年7月9日から改正されることに伴い、改正を行うもの。」

主な改正内容は、外国人登録制度の廃止と外国住民についても住民基本台帳法の適用対象となるもの」

質問 国がこれを進める理由は。

答弁 外国住民の便利性と行政の合理化を図ったもの。

産業建設
常任委員会
6月20日

観光事業特別会計補正予算

〔歳入歳出予算の総額に402万5千円を追加し、歳入歳出の総額を2億8,562万5千円とするもの。H20年度、H21年度分の消費税の修正申告に伴う本税、加算金及び延滞金を一括して計上。また、職員の異動に伴う人件費を繰入金で増額〕

〔質問〕 税務署から指摘された、消費税修正申告の経緯について。

〔答弁〕 行政財産目的外使用の自動販売機の売上げを雑収入扱いにしていたものが、非課税にならないとの見解が示され、修正申告の指導を受けた。〔質問〕 勉強不足でないのか。〔答弁〕 税の認識を新たにするようにし、努める。

行政視察報告

総務文教常任委員会

当委員会では、去る5月31日～6

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



福井県あわら市役所

月1日の日程で、福井県あわら市の先進的な取り組みについて研修した。〔教育振興について〕

あわら市は、H19年に就任した校長出身の教育長の強いリーダーシップの下、全国トップクラスの学力の福井県の中においても、さらなる学力向上に向けて、教員の資質向上のため、地元企業に出向いての研修会を開催したり、家庭学習におけるノーゲームノーテレビデーの推進や、中学校と高校で勉強やスポーツの交流を行ったり、授業時間が多く取れる2学期制の導入を検討している。

〔中国友好都市との交流について〕

あわら市出身の医師「藤野徹九郎」

と浙江省紹興市出身の文豪「鲁迅」との師弟関係を機縁に始まった紹興市との友好交流は、30周年を迎える。本年度の交流内容は、7月に紹興市の中学生13名のホームステイ受入れ、10月にあわら市長、あわら市議会議長が紹興市日本文化ウィークに参加、11月にあわら中学校の生徒16名、及び市内の金津高校の生徒8名をホームステイ派遣する。

〔フェイスブックについて〕

あわら市は、それまで一方通行だったホームページによる行政情報発信に加え、フェイスブックを利用して、市民との双方向のコミュニケーションを取るために、所属を横断した若手職員6人を中心として、H23年8月から検討を開始し、11月に開



フェイスブックについて

設した。観光施設を多く抱え、しかも営業成績が伸び悩んでいる胎内市にとつて、フェイスブックを用いた情報発信・情報収集は是非とも取り組むべき施策ではないかと感じた。

(文責 森田)

厚生環境常任委員会



東京都稲城市役所

5月21日からの2日間の日程で東京都町田市と稲城市を視察研修してきた。

〔稲城市で取組まれている「介護支援ボランティア制度」について〕

高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて、地域貢献することを積極的に奨励・支援し、高齢者自身の

介護予防を目指していた。

財源は、介護予防事業・地域支援事業交付金を活用しており、社会福祉協議会が管理運営している。

具体的な介護支援ボランティアの活動内容は、①デイサービス利用者昼食盛り付け②筋力トレーニング教室での見守り③小物作り等の指導や話し相手④裁縫ボランティアや洗濯物の整理⑤会食等の準備⑥囲碁・将棋等の相手。

皆で支え合う社会づくりの構築は、元気な高齢者にも活躍してもらう視点が大切だと痛感した。

【町田市「市民が創るごみゼロ社会の取り組み」について】

町田市は2020年までに、ごみ処理量の40%削減をにかけている。

NPO法人「町田発・ゼロ・ウェ



リサイクル広場真光寺のみなさん

イストの会」を訪ねた。具体的な取り組みは以下の4点、①生ごみは生ごみ処理機等で処理②イベントをエコに「リユース食器の利用③リサイクル広場を開設し、資源ごみを回収し再利用、ポイントカード制を運用④買い物時にはエコバックを持参。

リサイクル広場の開催日でないのに実際に開いてもらった。また電動ごみ処理機の稼働現場を見学、ごみは行政では無く、民間で地域をあげて取り組む姿勢に感動した。

メンバーの中には高齢者の方々も見受けられたが、「ここでの活動が楽しい」と和気あいあいと元気に活動している様子に感銘した。

胎内市でも、団塊の世代の人が定年を迎え元気な高齢者が増えているので、活動の場づくりが必要と思った。

(文責 花野)

産業建設常任委員会

当委員会では5月22日～23日の日程で市が直面している松くい虫被害を危機的状況ととらえ、松くい虫被害による防除、再生の先進地である石川県能美市を視察した。

対応してくれたのは根上森林連合



石川県能美市

会の人達で歓迎していただいた。初めに抵抗性クロマツ苗を植樹した現場2ヶ所を視察、その後被害木処理、防除方法、松林再生の説明を受けた。

被害は当市と同じように空中散布中止後の3年目のH15年に被害が拡大、H16年より樹幹注入を行った結果H16年～H17年と被害は減少したが、H18年に又、ピークを迎え、樹幹注入を行い、H19年以降は樹幹注入と地上防除を行った結果、現在では被害木はほとんど確認されてない。

当初の被害木の処理については伐倒後、地域の人、ボランティアの方達と被害木を搬出し、薪、炭焼き、チップなどに再利用、近年は製紙工場へ運び込んでいる。

松林再生については地域の人、ボランティア、市などからは重機等の



抵抗性クロマツを植樹した浜辺

貸与を受け、抜根後、白砂になるまで天地返しを行い植樹している。

植樹には小学生も参加させ、緑の復活にむけた並々ならぬ熱意を感じると共に、かけがえのない資源、緑環境保全がさげられる昨今、おおいに参考になる研修であった。

能美市とのあまりの認識の違いを感じ、今後の取り組みについて胎内市において審査を行った。

・将来計画は。

・専門家に一回見てもらう必要があるのでは。

・民有林に対する対応は。

・伐倒処理に対しては製紙会社等に当たってみてはどうか。

等の意見のなか今後の取り組みが重要である事を認識した。

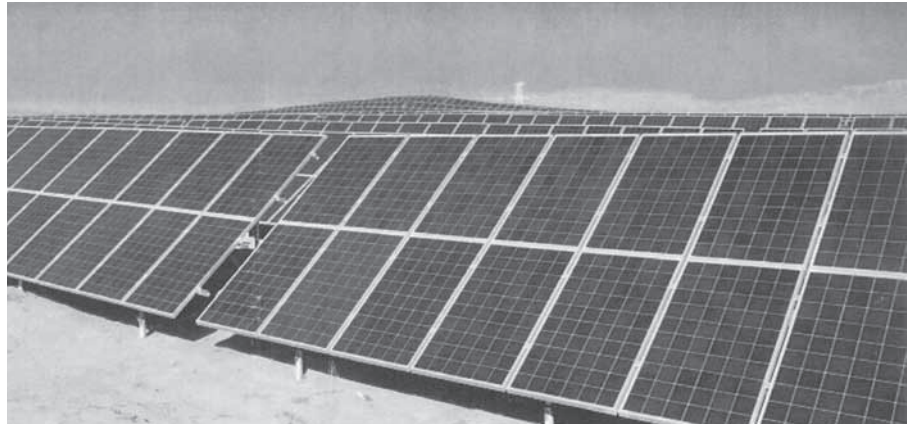
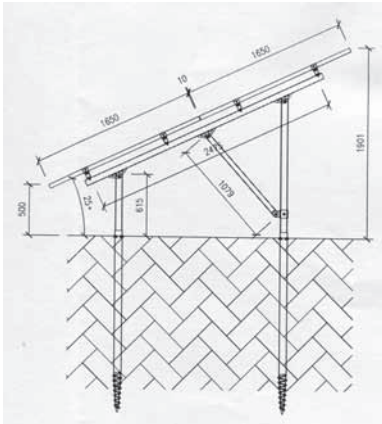
(文責 小林)

企業誘致促進 特別委員会報告

4月18日、丹呉副市長、川又総合政策課長及び担当者の出席のもと、「メガソーラーの誘致について」委員会を開催した。

船戸地内にある、運動公園用地の23,500㎡を株式会社ウエストホールディングスが市から借用し、メガソーラー太陽光発電システムを設置したいというもので、施設の概要については、8,330枚の太陽光パネルを設置、15メガワットで、500世帯分の電力の供給可能、基礎はコンクリートを使用しないで設置、工事期間は、2か月間、工事費約4億円は自己資金で賄うというものである。

経緯としては、工業団地を視察に来たのがきっかけで、工業団地の賃貸について、土地所有者である機構と県では公募による方針であり、着手までに時間がかかることと、料金競争になることから、工業団地には公募しないが、ほかに遊休地を探しているということから、市から運動公園用地を提案し、4月3日に現地



調査した結果、十分可能であるとの回答をもらい、用地については土地収用法が関係しているので、税務署等と協議した結果、問題は無しとのこと、この会社を誘致したいとの説明があった。

各委員からは、売電先、会社の実績、誘致によるデメリット、地区住民への説明会や維持管理の方法などを伺い、当委員会としてもメガソーラー施設を誘致することに関して推進することで了承した。

その他で、胎内風力開発(株)による風力発電事業の進捗状況、(株)エーゼット新潟工場が賃貸していたものが買い取り契約したことや、現在の誘致交渉状況を聞いて、委員会としても、各委員から建設的な意見も多く出され、それらも参考にしながら今後の誘致事業が更に推進されることを確認した。

(文責 渡辺 俊)

太陽電池の仕様	
モジュール型名	WEST-60-240 WHD社
公称最大出力	240W /1枚
公称最大出力動作電圧	29.72V /1枚
公称最大出力動作電流	8.08A /1枚
公称開放電圧	37.51V /1枚
公称短絡電流	8.48A /1枚
質量	19.5kg /1枚
モジュール寸法	1,650×991×40mm mm

システム概要	
設置屋根仕様	
パワコンディショナ	4台
系統数	
設置枚数	8,330枚
システム容量	0.240kW×8,330枚,999kW

議員表彰

市議会議員として、永年市政の振興に努められた功績に、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会より表彰された方々を紹介いたします。

菅原 市永氏 (議員在職10年以上)

富樫 誠氏 (議員在職10年以上)

※在職期間は、表彰規定により合併前の町村議員在職期間を1/2として換算してあります。

「議会だより」モニター募集

議会では、皆さんの意見や提言を聞かせていただくために「議会だより」のモニターを募集しております。

○詳細は議会事務局

お問い合わせ先

TEL 43 | 6111
 (内線 1411)
 FAX 44 | 7875

平成23年度 会派別政務調査費収支結果

H23年4月1日～ H24年3月31日

(単位：円)

科 目	政務調査費の内訳	政和会5名	緑風会3名	志政会3名	自民クラブ2名	日本共産党1名	公明党1名	無所属クラブ1名	無所属1名
収入	2,160,000	720,000	360,000	360,000	240,000	120,000	120,000	120,000	120,000
補助金出	2,125,174	720,000	360,000	360,000	240,000	120,000	106,921	101,770	116,483
返還金	34,826	0	0	0	0	0	13,079	18,230	3,517
支出	2,158,000	731,995	361,832	373,788	242,148	123,063	106,921	101,770	116,483
研究研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査旅費	1,340,126	468,726	98,000	288,000	101,400	96,000	96,000	96,000	96,000
資料作成費	215,657	9,514	156,349	45,243	0	0	3,881	670	0
資料購入費	391,426	139,155	87,900	40,545	66,660	27,063	4,520	5,100	20,483
広報費	210,791	114,600	19,583	0	74,088	0	2,520	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会 員 名	会 長	花野次次兵衛	松井 恒雄	菅原 市永	渡辺 俊	丸山 孝博	新治 ひで子	赤塚 タイ	高橋 政実
	副 会 長	八幡 行雄	渡辺 宏行						
	幹 事 長	森田 幸衛	薄田 智	小林 兼由	松浦 富士夫				
	会 計	天木 義人		桐生 清太郎					
	会 員	富樫 誠							
	会 員	佐藤 秀夫							

政務調査費の使用基準 (交付対象となる具体例)

胎内市議員内規 (平成24年5月～)

- ① 研究研修費
 - 研究会、研修会、フォーラム（自治法律、経済問題等）参加費
- ② 調査旅費
 - 先進都市視察、調査費（事前に様式に則った調査計画書を提出し、さらに調査終了後1か月以内に調査報告書を議長に提出する必要がある）
 - 条例に基づき宿泊料と日当の合計額の範囲内である視察中の食事代
- ③ 資料作成費
 - 資料作成に必要な消耗品
- ④ 資料購入費
 - 政治調査活動に必要な図書の購入
 - 2紙目以上の新聞購入費
- ⑤ 広報費
 - 市議会報告書・市政報告書印刷代
 - 議員が開設するホームページの運営費
- ⑥ 広聴費
 - 会場借上費、印刷製本費、茶菓子代
- ⑦ 人件費
 - 調査研究活動の補助員としての業務内容が明確なアルバイト
- ⑧ 事務所費
 - 事務所に設置されたインターネット接続サービス料
- ⑨ その他の経費
 - 調査研究活動に要する交通通信費



議会 の動き

第3回議会定例会 (予定)

9月

- 4日 議会運営委員会
- 11日 本会議 (初日)
- 13日 議会運営委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 18日 厚生環境常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会
- 21・24日 本会議 (一般質問)

※通告数により 21日は休会になる場合があります。

- 25～27日 決算審査特別委員会 (一般会計・特別会計・企業会計)

10月

- 1日 本会議 (最終日)

※議会日程 (予定) については、変更になる場合がございますので、お越しの際は、議会事務局にご確認ください。議会事務局 (内線1411)



胎内小学校6年生
上山萌花さんの作品です。

胎内小学校は統合して三年目の学校です。
新しい校舎やグラウンド、自然豊かなビオトープで、みんな仲良く元気に遊んでいます。



広域議会視察

議長 富樫 誠

広域議会は、胎内・新発田・聖籠の議員代表15名で構成され、消防署・ごみ焼却場・最終処分場・火葬場・介護認定等の業務を審議・議決を行う。7月2、3日、震災ガレキ受入れを審議すべく、岩手県大槌町の第二次処理場の現地視察と担当者の説明を受けてきた。

町中ガレキの山と仮設住宅、震災後1年5カ月、ガレキ処理なくして復興はまだまだ先だ、これは大槌町だけの現状ではない。

参加者一同「何とかしてやりたい」実現するには、焼却場と最終処分場(新発田市)周辺住民への正確な情報伝達と理解を頂く努力が必要。懸念ばかりしていた県も協力姿勢を示した、県と5市は「絆」持て。

編集後記

うっとおしい梅雨の季節も終り猛暑をむかえています。

梅雨前線の活発化で、九州地方を中心に記録的な大雨が降り、河川の氾濫による水害、土砂崩れが発生し、家屋の倒壊や、人命が奪われるなど甚大な被害をもたらしました。被災

された方々に心から見舞い申し上げます。当地域に於いては幸い、大雨は降りませんでした。災害マップを再確認し、的確に避難出来るよう周知しておく必要があると感じております。

現メンバーでの議会だよりの編集は終りとなります。その間、議会報を分かり易く伝え、一人でも多くの市民の皆様にご覧いただきたく、お寄せくださったご意見、ご指導を参考に試行錯誤を重ね編集、発行してまいりました。編集委員一同、厚く御礼申し上げます。

(菅原)



編集委員